

24 第4章－5 鎌倉文化(2) (教p. 116～119)

- 1 『**山家集**』の著者は誰か。
- 2 無情を感じて閑居し、仏の道に救いをもとめた心境を描いた**鴨長明**の随筆は何か。
- 3 道理の展開と、末法思想を背景とした歴史書である『**愚管抄**』を著したのは誰か。
- 4 後鳥羽上皇の命により、藤原定家が編纂した第8番目の勅^⑨和歌集を答えよ。
- 5 鎌倉幕府3代将軍**源実朝**の歌集をあげよ。
- 6 琵琶法師によって**平曲**として語られたことにより、文字を読めない人びともひろく親しまれた、軍記物語の最高傑作といわれる作品をあげよ。
- 7 動乱期のさまざまな人間の動きや混乱した社会の深い洞察を、簡潔・自由に表わした**兼好法師(吉田兼好)**の随筆は何か。
- 8 朝廷や公家社会の、儀式・礼儀・年中行事・官職などを研究する学問を何というか。
- 9 **北条実時**とその子孫が、和漢の書物をあつめた一種の図書館を何というか。
- 10 源頼政の挙兵以後1266年までの出来事を、編年体でしるした鎌倉幕府の記録は何か。
- 11 鎌倉時代末期、のちの政治思想に重大な影響をあたえる**大義名分論**を根幹とした学問が大陸から伝えられた。何という学問か。
- 12 源平争乱の際に焼かれた東大寺を再建した僧は誰か。
- 13 東大寺再建に採用された、大陸的雄大さと豪放な力強さを特色とする様式を何というか。
- 14 大陸から伝えられた、細かな細木などの部材を使い、整然とした美しさを表現した寺院建築様式を何というか。
- 15 13, 14の技法が、古代以来の**和様**にとり入れられて発達した建築様式を何というか。
- 16 親子で活躍した奈良仏師の父の方で、興福寺蔵「**無著・世親像**」の作者は誰か。
- 17 16らとともに、東大寺南大門**金剛力士像**の完成に加わったのは誰か。
- 18 禅宗の修行僧が一人前になったときにあたえられる、師や先達の肖像画を何というか。
- 19 大和絵に属し、鎌倉時代に発達した写実的な肖像画を何というか。
- 20 **尊円入道親王**が、宋の書風をとり入れ創始した書道一派を何というか。

補充・復習

- ア 『**十六夜日記**』の作者は誰か。
- イ 鎌倉時代末期、**虎関師錬**が漢文体で著した、わが国最初の仏教通史を答えよ。
- ウ **順徳天皇**が13世紀の初めごろにまとめた、有職故実に関する書物を何というか。
- エ 大陸的な雄大さ、豪放な力強さを特色とする寺院建築様式の代表的遺構を答えよ。
- オ 細かな部材を組み合わせて、整然とした美しさを表わすのを特色とする寺院建築様式の代表的遺構を答えよ。
- カ 鎌倉明月院には、鎌倉肖像彫刻中の傑作の1つといわれる作品がある。何という作品か。
- キ 個人を写實的に描いた鎌倉期の肖像画の名手を下記から1人選べ。
藤原定家 藤原隆信 藤原行成 藤原道綱
- ク この時代の武士の活躍を描いた、外国との合戦絵巻をあげよ。
- ケ 菅原道真の生涯と、神社の由来を描いた鎌倉時代初期の絵巻物をあげよ。
- コ 時宗の開祖の生涯を描いた絵巻物をあげよ。
- サ 京都の**吉光**・備前の**長光**とともに、当代の名刀鍛冶を代表するといわれる鎌倉の刀工をあげよ。
- シ 鎌倉時代は、宋や元の影響を受けて陶器の生産が各地で発達していったが、そのなかでわが国を代表する産地となった**尾張国**の焼き物を何というか。
- ス うわぐすりを用いる技法を中国から伝え、**シ**をはじめたともいわれているのは誰か。
- セ **無住一円**が著した仏教説話集をあげよ。